創立百二十周年記念特集号

米子西高翠会だより

第45号
令和8年(2026年)9月
編集発行
米子西高翠会
〒683-8512
米子市大谷町200
印刷所
東京印刷株式会社

会長挨拶



翠会会長
福田一哉

日頃より米子西高校翠会の活動に対しご理解とご協力をいただき、心より感謝し御礼申し上げます。

昨年わが母校は、創立百二十周年の節目の年を迎えました。

その間、三万三千名に上る同窓生を輩出し、郷土のみならず日本や世界の発展に寄与できたことは、翠会としても大きな誇りであります。

創立百二十周年にあたり、一昨年には記念名簿の作成、西高リカちゃんの制作・販売を行い、昨年は、皆様のご寄付により、第2体育館に念願でありました舞台幕を設置することができました。真新しい舞台幕の下、昨年度の卒業式、そして本年度の入学式を挙行できましたことは、生徒と共に私たち翠会会員の胸にも深く刻まれる思い出となりました。

そして昨年十月に開催した百二十周年記念式典は、「翠燦く」との共催事業として行い、現役生徒と共に百二十周年を祝い、慶ぶことができました。入江聖奈さんを始めとする翠会会員からのビデオメッセージや、サプライズ企画としてイモトアヤコさんの登場等、楽しい中にも米子西高校の生徒への励ましもあり、最高の百二十周年記念式典となりました。

現役生徒におきましては、進学、部活等文武両道に大変頑張っておられ、西高らしい様々な感動を我々に与えていただいております。

翠会としても引き続きクラブ後援会を中心に、物心両面のサポートをできる限りしていきたいと考えております。皆様にもこれまで以上の応援をよろしくお願いいたします。

結びになりますが、米子西高校翠会会員のますますのご清栄、ご活躍及び米子西高等学校の更なるご発展をご祈念し、私からのご挨拶といたします。

ご挨拶



校長
酒井敏彦

米子西高等学校は、百二十年を超える歴史の中で、多くの卒業生の皆様に支えられながら、地域に根ざした伝統校として歩みを重ねてまいりました。その長い歴史の中で育まれてきた校風と精神を受け継ぎ、さらに未来へ発展させていくことが、現在の私たちに託された使命であると感じております。

本校校長の酒井でございます。歴代の校長先生方、教職員の皆様、そして多くの同窓生の皆様が築いてこられた米子西高校の歩みの重みを胸に刻みながら、日々の教育活動に取り組んでおります。現在の西高生が、先輩方から受け継いだ誇りを胸に、それぞれの可能性を広げ、未来を切り拓いていくことができるよう、教職員一同、力を尽くしてまいります。

本校では、「英知」「情熱」「礼節」「協力」の精神を大切にしながら、「多様な価値観を尊重し、主体的に生きる力を育み、持続可能な社会を創造する人財の育成」を学校教育目標に掲げています。

高校時代は、生徒が自らの可能性を発見し、大きく成長していく大切な三年間です。その成長の原動力となるものが「チャレンジ」であると考えています。本校では、「チャレンジしてチェンジしよう」を合言葉に、生徒一人ひとりが様々なことに挑戦し、自分自身を成長させることができる教育環境づくりに取り組んでいます。

その中心となる取組の一つが、「みらいチャレンジ活動」をはじめとする探究的な学びです。生徒たちは、地域や社会が抱える課題に向き合い、自ら問いを立て、多様な人々との対話や協働を通して学びを深めています。これからの時代に必要となる、自ら課題を発見し、考え、判断し、行動する力の育成を大切にしています。

また、学習活動だけでなく、部活動、学校行事、生徒会活動なども、生徒たちにとって重要な成長の場となっています。仲間と協力しながら目標に向かって努力する経験、困難に向き合い最後までやり抜く経験、自ら考えて行動する経験は、将来社会で活躍するための大きな財産となります。

学習、探究活動、課外活動などで得られる様々な経験は、それぞれが独立したものではありません。授業で培った思考力を課題解決の場面で生かし、探究を通して身に付けた課題発見力や発信力を進路選択につなげる。また、仲間と協働する中で培った粘り強さや協調性を、将来の目標実現につなげる。このように、多様な経験が有機的に結び付くことで、生徒は人として大きく成長していきます。

近年、生成AIをはじめとする技術革新により、社会は急速に変化しています。知識や情報を得ることだけであれば、AIが大きな力を発揮する時代となりました。しかし、そのような時代だからこそ、自ら問いを立て、多様な価値観を持つ人々と協働しながら、新たな価値を創造する力が重要になります。

その力は、日々の学びや様々な経験を積み重ねる中で育まれるものです。百二十年を超える本校の歴史は、時代ごとの変化に向き合いながら、多くの卒業生の皆様が努力し、挑戦し、歩んでこられた軌跡そのものです。その一歩一歩が米子西高校の伝統となり、現在の生徒たちへと確かに受け継がれています。

本校では、先輩方が築いてこられた伝統を大切に受け継ぎながら、変化の激しい時代においても、自ら考え、判断し、行動する力を育み、新しい価値を創造できる人財の育成に取り組んでまいります。伝統とは、過去を守るだけではなく、未来に向けて新たな価値を生み出し続けることで受け継がれていくものだと考えます。本校では、これからも歴史と伝統を大切にしながら、変化する時代に対応した教育を推進し、生徒一人ひとりが自らの可能性を最大限に発揮できる学校づくりに努めてまいります。

最後になりましたが、米子西高翠会のますますのご発展と、会員の皆様のご健勝を心より祈念申し上げます。今後とも本校教育への変わらぬご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

米子西高翠会総会のご案内

●日時　令和8年10月17日(土)15時～
●会場　米子ワシントンホテルプラザ
●日程
・受　付　14時半～
・総　会　15時～
・記念演奏　16時～　箏曲部
・記念講演　16時30分～



・講師　生田　和史(かずふみ)氏(86期)
1975(昭和50)年生まれ　米子市出身
【学歴】
1998年 鳥取大学医学部生命科学科卒業
2000年 同大学院(修士課程)修了
2003年 同大学院(博士課程)修了
・演題「私たちと一緒に生きるウィルス」
・懇親会　18時～20時
●会費　七千円(懇親会参加希望の方)
※担当幹事　56・66・76・86・96・106の期
(昭和38・48・58・平成4・14・24年卒業)
※開催の有無や、内容を変更させていただく場合がございます。西高及び翠会のホームページにて掲載いたしますので、ご確認願います。

創立百二十周年 記念式典・記念事業

記念式典


イモトアヤコさま


感謝状（依藤元校長）



校長式辞


入江聖奈さま祝辞（VTR）


遠藤尚子さま祝辞


翠会会長挨拶

記念事業


オリジナル制服
リカちゃん



創立120周年
記念名簿の発刊

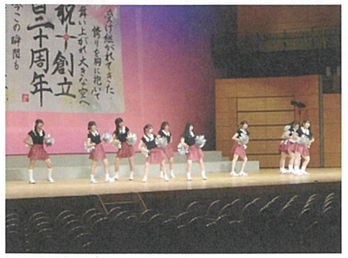

舞台幕

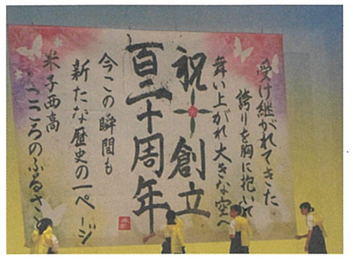


マフラータオル

安部朱美さんより寄贈された人形

文化部


応援部



書道パフォーマンス


箏曲部


吹奏楽部


校歌斉唱


美術部


漫研＆文芸部


華道部


書道部



写真部

お礼

米子西高等学校創立百二十周年にあたり、記念名簿の刊行、式典等、会員の皆様をはじめ多数の方々のご支援・ご協力を賜り、盛大にとり行うことができましたことを厚くお礼申し上げます。百二十周年に引き続き、母校のさらなる発展のため皆様のお力添えを賜りますよう、お願い申し上げます。

令和7年米子西高翠会総会報告


幹事長
宮廻　裕和

本年は、米子西高創立120周年を迎え記念式典も盛大に執り行われました。

その記念すべき年の翠会総会が10月15日米子ワシントンホテルプラザで開催されました。

米子西高の卒業生は、およそ3万人におよぶといわれております。多くの卒業生が各界で活躍をされており、また米子西高の校訓「文武併進」のもと在校生の皆さんもスポーツ、文化など多彩な分野で活躍をされています。これからも皆様の益々の活躍に期待をいたします。

本年の翠会総会は、5の期の担当となり、65期から105期のみなさんで進行をさせていただきました。

午後3時より猪口晃太郎（105期）さんの進行で総会が始まり、最初に翠会会長福田一哉様、米子西高校長酒井信彦様、関東翠会会長上野真様にご挨拶をいただきました。

続いて議事進行に入り議長には内田清光（75期）さんを選出し、議事が始まりました。

最初に「令和6年度事業報告及び令和7年度決算承認の件」並びに「令和7年度予算案承認の件」さらにクラブ後援会の「令和6年度事業報告及び令和7年度予算案承認の件」並びに「令和7年度事業計画及び令和7年度予算案承認の件」につきまして協議していただき、結果いずれも承認されましたことをご報告いたします。

続きまして令和8年度の翠会役員の選出に入りました。選考委員長は朝田雅伸（76期）さんをはじめ5名の選考委員のみなさんで討議していただきました結果、福田会長様をはじめ現役員の皆様に引き続き就任していただくこととなり総会を終了いたしました。

また当日会場には61期ご卒業の人形作家安部朱美さん作の「お人形」を展示させていただきその「お人形」は学校に寄贈していただけることとなりました。それと120周年記念のタオルをはじめ歴代の記念タオルが掲出されました。

午後4時からは吹奏楽部の皆さんによる演奏を聞かせていただきました。最初に米子女学校時代の校歌から始まり錦町時代の校歌そして現校歌と3世代にわたる校歌をきかせていただきました。素晴らしい演奏会でした。

午後4時20分からは、記念講演会に入り講演には長谷川大介（105期）様より「私たちは教育にどのようにかかわるのか～教育魅力化・探究・起業家教育の交差点からみえたもの～」をテーマにご講演いただきました。学校と地域をつなぐことにより新しいコトが起こりそれによって町を元気にしていくという観点からお話をしていただきました。

午後6時より稲田祥悟（95期）さんの進行で懇親会が始まりました。

翠会会長福田一哉様の挨拶の後、乾杯の音頭を関東翠会会長上野真様のご発声により祝宴が始まりました。120周年にふさわしく世代を超えて旧交を温めることができ、思い出深い時間となりました。また、青山典代元先生によるリズムダンスを全員で輪になって踊ることとなり青春時代に戻ったような気持ちになった方も多かったと思います。

最後になりますが、翠会総会の開催にあたりまして各方面からのご協力をいただき、またさまざまな準備に携わっていただきました事務局の皆様のおかげをもちまして素晴らしい総会を開催することができました。

総会に携わられた皆様、当日ご参加いただきました皆様に心より感謝申し上げます。

令和8年度 部活動大会結果一覧 R8・4～8

【運動部】

・テニス部
県高校テニス選手権
女子シングルス　川上梨華　優勝
女子ダブルス　種京香・川上梨華　3位
男子ダブルス　大原煌希・宮野友暉　3位
MUFG全国ジュニアテニストーナメント
女子シングルス　本戦1回戦
川上梨華 0－2 神奈川県代表
コンソレ
1回戦　川上梨華 2－0 宮城県代表
2回戦　川上梨華 0－2 長野県代表
県高校総体
女子団体　2位（中国大会出場）
川上梨華
女子シングルス　優勝（インターハイ出場）
女子ダブルス　種京香・川上梨華　3位（中国大会出場）
男子団体　3位（中国大会出場）
男子ダブルス　大原煌希・宮野友暉　3位（中国大会出場）
国民スポーツ大会少年の部県予選
女子シングルス　川上梨華　優勝（本大会出場）

・ソフトテニス部
県高校総体
島山・高田　9位（中国大会出場）
本庄・矢倉　17位（中国大会出場）
妹尾・野坂　9位（中国大会出場）

・バレーボール部
県高校バレーボール選手権大会
女子　4位（中国大会出場）
県高校総体　女子　4位（中国大会出場）

・陸上競技部
鳥取県陸上競技選手権大会
男子
3000mSC　船田幸大　2位
砲丸投　山本哲平　8位
上坪絢斗　走幅跳　8位
女子
3000m　田原里紗　5位
3000mH　森田心泉　8位
3000m　林　知香　8位
4×100mR　女子　8位
（河崎実希・田邊希来・細田桜良・森田心泉）
（以上中国選手権出場権獲得）
県高校総体
上坪絢斗　男子走幅跳　3位
男子3000mSC　6位
女子4×400mR（田邊希来・田原里紗・樋口美希・森本小亜禮）　3位
女子4×400mH　女子1500m　女子3000m　6位
（6位以内中国大会出場）

・弓道部
中国高校鳥取県予選
男子個人　漆原　蒼　9位
女子個人　森　美緒　16位
大野結菜　中2
川上真穂　中2
（以上中国大会出場）
第6位　男子団体　3位
第5位　女子団体　6位

県高校総体
男子個人　漆原　蒼　3位
女子個人　大野結菜　3位
女子団体　24中　3位
女子決勝リーグ　6位
国民スポーツ大会弓道競技少年男子選手選考会
漆原　蒼　優勝

【テニス部】
県高校テニス選手権
女子シングルス　川上梨華　優勝
女子ダブルス　種京香・川上梨華　3位
男子ダブルス　大原煌希・宮野友暉　3位
MUFG全国ジュニアテニストーナメント
女子シングルス　本戦1回戦
川上梨華 0－2 神奈川県代表
コンソレ
1回戦　川上梨華 2－0 宮城県代表
2回戦　川上梨華 0－2 長野県代表
県高校総体
女子団体　2位（中国大会出場）
川上梨華
女子シングルス　優勝（インターハイ出場）
女子ダブルス　種京香・川上梨華　3位（中国大会出場）
男子団体　3位（中国大会出場）
男子ダブルス　大原煌希・宮野友暉　3位（中国大会出場）
国民スポーツ大会少年の部県予選
女子シングルス　川上梨華　優勝（本大会出場）

【ソフトテニス部】
県高校総体
島山・高田
本庄・矢倉　女子個人　9位（中国大会出場）
妹尾・野坂　9位（中国大会出場）

【バレーボール部】
県高校バレーボール選手権大会
女子　4位（中国大会出場）
県高校総体　女子　3位

【陸上競技部】
鳥取県陸上競技選手権大会
男子
3000mSC　船田幸大　2位
砲丸投　山本哲平　8位
上坪絢斗　走幅跳　8位
女子
3000m　田原里紗　5位
3000mH　森田心泉　8位
3000m　林　知香　8位
4×100mR　女子　8位
（河崎実希・田邊希来・細田桜良・森田心泉）
（以上中国選手権出場権獲得）

【弓道部】
中国高校鳥取県予選
男子個人　漆原　蒼　3位
女子個人　森　美緒　6位
大野結菜　中2
川上真穂　中2
（以上中国大会出場）
男子団体　3位
女子団体　6位
第5位　1816中　2中　8位
（以上中国大会出場）

県高校総体
男子個人　漆原　蒼　3位
女子個人　大野結菜　3位
女子団体　24中　3位
女子決勝リーグ　6位
国民スポーツ大会弓道競技少年男子選手選考会
漆原　蒼　優勝

【剣道部】
中国高校選手権鳥取県予選
男子　丁浦　麗　ベスト32（中国大会出場）
女子　青木麗瑠　ベスト32（中国大会出場）

・ハンドボール部
中国高校鳥取県予選
男子　4位（中国大会出場）
女子　4位（中国大会出場）

・水泳部
県高校総体
男子
400m自由形　4位　岩崎寛希
200m平泳ぎ　6位　山根晴希
200m平泳ぎ　5位　山根晴希
4×100mフリーリレー　6位
4×200mフリーリレー　7位
4×100mメドレーリレー　7位
女子
200m自由形　優勝　船越　西　3位　船越
400m自由形　優勝　船越　温　3位　船越　温
200m平泳ぎ　優勝　築谷日咲　3位　安本千夏
200m平泳ぎ　優勝　築谷日咲　2位　安本千夏
4×100mフリーリレー　2位
4×200mフリーリレー　2位
4×100mメドレーリレー　2位
男子総合　8位　女子総合　2位
（6位までの入賞者及びチームは中国大会出場）

・ボート部
中国高校鳥取県予選
男子舵手付クオド　優勝
石破慶治・堀之内大都
女子ダブルスカル　優勝
前田・足澤・林・中島・太田
女子シングルスカル　槇本　唯　3位
中国高校ローイング選手権　出場選手決勝進出　2位
※天候悪化により決勝レースは中止
県高校総体
男子舵手付クオド　堀之内・石破　2位
前田・足澤・林・中島・太田　4位
女子ダブルスカル　優勝（インターハイ出場）
槇本　唯　森田・小谷　2位
女子シングルスカル　優勝（インターハイ出場）

・ボクシング
中国高校ボクシング選手権
ジュニア・ウェルター級　優勝（インターハイ出場）

・アーチェリー
県高校総体
男子個人70m　優勝（インターハイ出場）
児島柚葵
女子個人70m　足芝　凛　3位

【文化部】
【美術部】
鳥取県高校デッサンコンクール
高嶋美羽　石膏部門　最優秀賞
第50回全国高等学校総合文化祭
美術・工芸部門出場　高嶋美羽　三原紗和

【箏曲部】
令和8年度第73回鳥取県高等学校総合音楽会
日本音楽の部　優秀賞（近畿総文祭出場）

【放送部】
NHK杯全国高校放送コンテスト鳥取県大会
アナウンス部門
日高　栞（近畿総文祭出場）
朗読部門（Nコン全国大会出場）
松永一花
松本美優（近畿総文祭出場）

【吹奏楽部】
第67回全日本吹奏楽コンクール中国大会　銀賞
第50回全国高等学校総合文化祭吹奏楽部門出場

進路状況

今春卒業生の進路先は大学進学216名、短期大学進学13名、専修学校進学24名、就職3名でした。合格者数では、国公立大学96名（過卒生を含めて110名）で、学校目標を上回る結果となりました。私立大学はのべ321名、専修学校はのべ31名でした。国公立大学別では、東京農工大、京都教育大、大阪教育大、岡山大、広島大、山口大、大阪公立大、神戸市外国語大、北九州市立大などに合格し、山陰地方では鳥取大13名、島根大30名、公立鳥取環境大6名、島根県立大18名でした。

昨春同様、総合型選抜・学校推薦型選抜での合格が多く、国公立大学だけでも31名でした。多くの生徒が「みらいチャレンジ活動」などの本校での探究的な学びによく取り組み、そこで培った学びへの意欲や活動成果が合格につながったと考えます。

上記の進学者の中には、同じ方式の入試を受験し合格した本校卒業生からアドバイスを受けて、受験に臨んだ生徒もありました。来客の上級学校教職員の方から卒業生が勉学に勤しんで成果を上げたという話を聞くこともよくあります。諸先輩方に本校の進路指導が支えられている面があることに気づかされます。御支援・御声援に感謝申し上げますとともに、今年度も本校進路指導の諸活動への御理解・御協力をお願いします。

令和７年度　合格者数（延べ人数）

	大学			短大		専修学校		合計
	国立	公立	私立	国公立	私立	看護医療	その他	
令和8年3月卒業生	54	42	321	14	12	17	14	474
令和7年3月以前卒業生	12	2	19	0	0	0	0	33
合　計	66	44	340	14	12	17	14	507

第108回全国高等学校野球選手権鳥取大会を終えて

同窓会の皆様には日頃より温かいご支援、ご声援、多大なるご寄付をいただき感謝申し上げます。

硬式野球部は3年生12名、2年生10名、1年生18名の40名の部員と岩崎（部長）、坂口（監督）、田中（コーチ）、川下（顧問）の4名の教員で活動をしています。

今大会は鳥取市の「ヤマタスポーツパーク野球場」で開催されました。

ダッグアウト裏には空調設備・冷水機などが整えられ、5回裏のクーリングタイム導入など暑さ、熱中症対策を可能な限りとって実施されました。

本校の初戦は日野高校と対戦し、29-5（7回コールド）で勝利し、2回戦は米子高専と対戦し、10-3（7回コールド）で勝利しました。3回戦は昨年度も対戦した鳥取城北高校と対戦しました。試合中盤までは互角の戦いでしたが、終盤突き放され0-7（7回コールド）で敗退しました。

敗戦の翌日から新チームはスタートし、秋季県大会さらには来春の選抜大会を目指して日々練習に励んでいます。

今後ともより一層のご支援、ご声援をお願いします。



関西翠会・関東翠会のご紹介

関西翠会（現在休会中）
会長　植田　武男

昭和62年に発足した関西翠会は、2年に1回の総会開催、会報発行、小旅行のイベント等、会員相互の親睦を深めながら38年余りの歴史を積み重ねて参りました。関西地区における拠点として今後の活動継続に向け模索中です。



関東翠会　会長　上野　真

120周年記念特集号の発刊、誠におめでとうございます。前回は関東米工会との合同総会・懇親会を開催し、世代や地域を越えた交流を深める貴重な機会となりました。今年度はその経験を糧に、関東翠会単独で開催し、さらなる交流と魅力向上に努めてまいります。新たにご入会の皆さまも心より歓迎申し上げます。皆さまと心温まるひとときを共有できますことを楽しみにしております。

鳥取県立米子西高等学校関東翠会
関東翠会総会並びに懇親の集いへのお誘い

秋風の候、皆さまにはますますご健勝のことと存じます。

さてこの度、関東翠会第21回総会・懇親会を開催する運びとなりました。

第19回の令和2年6月はコロナ禍により中止、第20回は令和7年1月に関東米工会との合同での開催でした。今回は従来通りの米子西高関東翠会のみでの開催となります。

お忙しい中とは存じますが、同期の皆さまお誘いあわせの上ご出席いただきますようお願い申し上げます。

令和8年9月吉日

米子西高関東翠会　会長　上野　真

●開催日時：令和8年11月15日（日）
午前11時30分～午後2時（午前11時より受付）
●会場：「ももてなし家」tel 03-6280-6475
東京都港区新橋1-11-7 新橋センタープレイスとっとりおかやま新橋館2F

令和７年度翠会会計決算書

自　令和７年４月１日
至　令和８年３月31日

収入の部　（単位：円）

項目	予算額	決算額	増減	備考
前年度繰越金	5,139,117	5,139,117	0	
入会金	1,400,000	1,400,000	0	5,000円×280名
預金利息	283	2,414	2,131	
協力金	1,000,000	1,015,000	15,000	会報発送費補助、名簿、名簿協賛金
雑収入	300,000	313,372	13,372	
繰入金	0	0	0	
合計	7,839,400	7,869,903	30,503	

支出の部

項目	予算額	決算額	増減	備考
会議費	300,000	463,488	163,488	総会会場費等
会報発行費	2,500,000	2,554,222	54,222	翠会だより印刷、会報発送費
旅費	250,000	72,560	△ 177,440	関東翠会総会
慶弔費	200,000	10,150	△ 189,850	福田一哉ご母堂
事務費	300,000	223,690	△ 76,310	事務代行代、通信費、払込手数料等、ホームページサーバー料
予備費	4,289,400	2,086,000	△2,203,400	120周年支援金、入会金返金、広告代金、関東翠会
合計	7,839,400	5,410,110	△2,429,290	

積立金　（定期預金内訳）

1,025,441	山陰合同銀行
101,851	ゆうちょ銀行
2,003,784	米子信用金庫
101,754	米子信用金庫

総収入　7,869,903円
総支出　5,410,110円
差　額　2,459,793円（令和８年度に繰り越し）

令和７年度　クラブ後援会収支決算書

（収入の部）

一般会費	3,916,000円	4,800円／生徒一人あたり
同窓会員寄付金	455,000円	一般会員（415,000円）、卒業生（40,000円）
繰越金	4,788,590円	令和6年度繰越金
雑収入	11,951円	預金利息
合計	9,171,541円	…①

（支出の部）

会務費	300,660円	同窓会報郵送料（クラブ後援会負担分）他
遠征補助費	1,239,833円	遠征費補助（中国大会以上）
部活動補助費	314,844円	製氷機借上、部活動特別補助
合計	1,855,337円	…②

令和7年度繰越金（①－②）=7,316,204円

令和7年度繰越金	7,316,204円
基金会計	3,579,174円
保有金額	10,895,378円

同窓会員寄付金領収書については、平成16年度総会において、経費節減のため送付しないことが決議されています。ご理解のほどよろしくお願いします。